

京都華頂大学現代生活学部・食物栄養学科 3つの方針

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

食物栄養学科では、学部の学位授与の方針に基づき、以下の資質・能力を総合的に身に付け「健康長寿社会の実現」に貢献できる力を備えた者に学士(家政学)の学位を授与する。

- (1) 知識・理解
 - ・食物栄養学についての専門知識を有している。
 - ・人間の一生(ライフステージ)における各段階の多様な生き方に関する幅広い知識を有している。
- (2) 汎用的技能
 - ・会話、文章を場面や目的に合わせて適切に使用することができる。
 - ・数量データを含む多様な情報を収集・整理・分析し、正しく活用できる。
 - ・科学的視点を持って課題を発見し、論理的に分析、解釈することができる。
 - ・使命感と責任感をもって職務を遂行するために適切なコミュニケーションを取ることができる。
- (3) 態度・志向性
 - ・課題解決のために、社会のルールに従い自らを律して、自己の良心に従って主体的に行動できる。
 - ・他者との相互理解による協調を進め、共通する目標のために協働できる。
 - ・豊かな人間性、生命への尊厳や職業に対する倫理観を持って行動できる。
 - ・社会から期待されている専門職としての役割を果たすため、求められる専門性を意識し、主体的に目標を持って学び続けることができる。
- (4) 総合的な学習経験と創造的思考力
 - ・獲得した知識・技能、態度等を総合的に活用し、地域、社会の人々の健康で豊かな暮らしの実現に寄与できる能力を有している。

教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)

食物栄養学科では、学位授与の方針に掲げる目標を達成するために、全学部共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実験・実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育内容、教育方法、学修成果の評価については次のように定める。

1 教育課程・授業・学修方法の在り方

- (1) 知識・理解
 - ・現代の家族・家庭、地域、社会の諸問題やライフステージに関する知識・理解のために、学部共通の基幹科目を置き、食物・栄養学に関する専門知識獲得のために学科選択科目を置く。
- (2) 汎用的技能
 - ・会話・文章表現について学ぶために、基本科目に英語コミュニケーション、日本語表現法などの科目を基本科目に置く。
 - ・情報処理能力を高めるための情報処理等の科目を基本科目に置く。
 - ・科学的視点を持って情報の収集を行い、論理的に分析・活用・表現できる力を付ける科目、さらにその力をつける実験科目を管理栄養士関連科目群に置く。
 - ・課題発見とそれを主体的に解決できる能力及び使命感と責任感をもって職務を遂行するための力を養うための実習・演習科目を管理栄養士関連科目群に置く。
- (3) 態度・志向性
 - ・課題解決のために、自らを律して主体的に行動できる力を養うために、キャリア教育などの科目を置く。
 - ・他者との協調、協働を学ぶため、総合基礎演習や現代生活学演習などの科目を置く。
 - ・豊かな人間性、生命への尊厳や職業に対する倫理観を持って行動できる力を養うための科目を学科選択科目の中に置くとともに、生活科目群を、さらに基本科目の中に人権と社会などの科目を置く。
 - ・社会から期待される専門職に求める力を意識し、主体的に目標を持って学び続けることができる力を養うために、管理栄養士関連科目群を置く。

(4) 総合的な学習経験と創造的思考力

- ・ 獲得した知識、技能等を総合的に活用し、地域、社会において、人々の健康で豊かな暮らしの実現に寄与できる能力を養うため、卒業演習などの科目を置く。

2 学修成果の評価方法

- ・ 講義、演習、実験・実習をとおして知識・理解を深め、諸問題を発見・分析・考察した上で、課題解決に対応する能力が備わったかを筆記試験・レポート・口頭発表等により評価する。
- ・ GPA による客観的な評価基準を適用する。

入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 知識・理解

- ・ 高等学校等で履修した教科(国語、外国語、化学、生物等)の学習内容を理解している。
- ・ 栄養士・管理栄養士、栄養教諭、また、食に関係する企画・開発などの専門家を目指している。

(2) 思考・判断

- ・ 食と栄養の重要性を理解し、客観的に合理的な考え方と判断力を身に付けている。

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 食と健康に関心を持ち、人々の健康の維持増進を食生活からアプローチしたいという意欲と情熱を持っている。
- ・ 食の安全・衛生や食ビジネスの分野において、企画・立案、及び課題解決を行うことに関心・意欲がある。

(4) 技能・表現

- ・ 多様な人々の状況に対し、食品、栄養、調理・加工、食育などの専門性をもって柔軟な対応ができる技能と表現力を身に付けたいと考えている。